

私は、昨年12月にラゼック手術を受けました。

それまで、レーシックというのはテレビで観るくらいで身近に感じていませんでした。レーシックの担当になった当初は、眼の手術なので少し怖いと思っていましたし、インターネットで調べるといろいろ不安なことも書いてあり手術を受ける勇気が出ませんでした。

しかし、何人もの方が手術後に『受けて良かったです』といわれるのを聞いてコンタクトレンズのない生活はどんなに楽かと思ひ、受けたいという気持ちが固まってきました。

検査の結果、角膜の厚みが薄いためラゼック手術を受けることになりました。手術が終わって、当日の夜から激痛が始まりました。ラゼックを受けられる方には術後の痛みについて説明しますが、なかなか伝わりにくく術後想像以上でしたと言われる方が多いです。私自身も想像以上でしたし、とても言葉で表現し難い痛みでした。とにかく眼を開けられなかったですし、二日間は夜痛みで一時間毎に目が覚め眠れませんでした。今思えば、玉ねぎが目にしみるような痛みに似ているような気がします。

その後は二重に見えたり、なにか左右差を感じるような見え方でした。運転中看板の文字が二重に見えたりしました。ただ、日によっては割とよく見えている時もありましたし、お昼頃まではよく見えていても午後からはぼんやりして焦点が合いづらくなってきたりする日もありました。日によって違うので、正直不安もありましたが一か月ほどでは気にならなくなっていました。

今ではコンタクトの煩わしさがなくなり、まさかまた裸眼で過ごせる日が来るとは思っていませんでしたが、今ではあの時に勇気を出して手術を受けて良かったと思います。ラゼックを受けられる方は、不安になられることもあると思いますし、検査の結果ラゼックなんだと残念そうにされる方もいらっしゃると思いますが、不安なときは気軽に相談ください。

レーシックは簡単に受けられる手術ですが、眼のことなので受けようと決められるまでには不安もあると思います。手術はいつでも受けられますので不安はすべて解消されて受けていただけたらと思います。